宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

1.定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内 上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾病 34 週 35 週 36 週 37	工人の自然工作 に 週間にの可したぶ甘奴 、「牧は プリルニ((医療機関)のにサー週间に診断した患者致。*は忌性呼吸益感染症(ARI)に含まれる感染症。 夜学週			
大文庫	疾 病					
次回 次回 次回 次回 次回 次回 次回 次回	/ 7 tr - 4					
### ### ### ### ### ### #############	シ 感型 A 化 型 A 化 型 R で ル症 ロ I し エ ン ヴ イ ザ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	急性呼吸器感染症(ARI)				
新型コロナウイルス感染症 * 15,40 18,00 14,20 19,60 19,60 RSウイルス感染症 * 0.33 0.33 0.33 1.33		インフルエンザ *		0.20		0.20
RSウイルス感染症 * 0.33 0.33 0.33 1.33		新型コロナウイルス感染症 *		90		98
明頭結膜熱 * A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 * 2.67 1.67 2.67 2.67 2.67	7V 1LE	RSウイルス感染症 *	1	1	1	4
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 * 2.67 1.67 2.67 2.67 2.67 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			0.33	0.55	0.33	1.33
小児科 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一			8	5	8	8
小児科定点 一切		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *		1.67	2.67	2.67
児科定点 水痘 1.00 2.33 3.67 手足口病 0.67 0.67 0.67 伝染性紅斑 6.00 10.33 9.33 4.00 突発性発しん 1.00 1.00 0.33 ハルパンギーナ * 4.33 8.33 6.67 6.33 流行性耳下腺炎 0.33 0.33 0.33 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 感染性胃腸炎(ロタウイルス) クラミジア肺炎(オウム病は除く) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 2 2 2 3 2 本付達 2.00 2.00 3.00 2.00 拡張疾 マイコプラズマ肺炎(小児科) 12 8 3 5 川崎病 1 1 1 1 1		感染性胃腸炎		2.33	2.33	0.33
伝染性紅斑 6.00 10.33 9.33 4.00		水痘				
伝染性紅斑 6.00 10.33 9.33 4.00		手足口病				
契発性発しん 3 1 1.00 1.00 0.33 ヘルパンギーナ * 4.33 8.33 6.67 6.33 流行性耳下腺炎 0.33 0.33 0.33 急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎 感染性胃腸炎(ロタウイルス) クラミジア肺炎(オウム病は除く) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 2 2 3 2 マイコプラズマ肺炎 2.00 3.00 2.00 無菌性髄膜炎 *** *** *** *** が振襲疾 *** *** *** *** が振襲疾 *** *** *** *** が振襲疾 *** *** *** *** ・マイコプラズマ肺炎(小児科) 12 *** *** *** が振襲疾 *** *** *** ***	点	伝染性紅斑		31	28	
Aルパンギーナ *			3	3	1	4.00
A.33 A.34 A.35 A.35						19
日本		ヘルパンキーナ *	4.33	8.33	6.67	6.33
 感染性胃腸炎(ロタウイルス) クラミジア肺炎(オウム病は除く) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 ボム張疾患 		流行性耳下腺炎	0.33			0.33
 感染性胃腸炎(ロタウイルス) クラミジア肺炎(オウム病は除く) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) マイコプラズマ肺炎 無菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 ボム張疾患 	眼科	急性出血性結膜炎				
基幹定点 クラミジア肺炎(オウム病は除く) 細菌性髄膜炎(真菌性を含む) 2 マイコプラズマ肺炎 2.00 無菌性髄膜炎 拡張疾患 マイコプラズマ肺炎(小児科) 川崎病 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 3 2 2 3 5 3 5 4 1 4 1 5 1 6 1 7 1 8 3 9 1 9 1 1 1 1 1 1 1 2 3 3 3 4 3 5 3 6 3 7 4 8 3 8 3 <	定点	流行性角結膜炎				
##		感染性胃腸炎(ロタウイルス)				
マイコプラスマ肺炎 2.00 2.00 3.00 2.00	基幹定点	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
マイコプラスマ肺炎 2.00 2.00 3.00 2.00		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎				
拡 マイコプラズマ肺炎(小児科) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		無菌性髄膜炎	2.00	2.00	2.00	2.00
疾	張	マイコプラズマ肺炎(小児科)	12	8	3	
生		川崎病		1	1	1
个明発疹症		不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	施設区分 保育所 高齢者・障害者施設		医療機関
対応状況	_	_	_
備考			

【医療機関の皆様へ】

・感染症法に基づく、 医師の届出に必要な 医師の届出に必要な アカウントの発行及び き システムのログインは お ず こちら



3.栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、一:対応無し

【 全数報告疾病 】※栗原支所管内

県内の百日咳の患者報告数が多い状況が続いています。

【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- 県内全域で新型コロナウイルス感染症の患者報告数が増加して います。
- 水痘の患者報告数が増加しています。
- 伝染性紅斑とヘルパンギーナは、患者報告数が多い状況が続い ています。
- 引き続き、基本的な感染対策を徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

新たな集団発生の報告はありません。

【 感染症コラム~結核の感染対策~】

- 結核菌は、人が「咳」をすることで空気中に撒き散らされます。空中でふわふわ 浮いている結核菌を吸い込む(空気・飛沫核感染)ことで、菌が体のなかに入り ます。手を握る、同じ食器を使う等では、体内に取り込まれることはありません。
- たとえ結核菌を吸い込んでも、菌が増える肺の奥底まで到達するのはほんの わずかで、必ずしも「感染」するわけではありません。
- 結核菌の感染が成立するには、数時間以上にわたり高い濃度の菌を吸い込み 続ける必要があります。
- 前述の感染経路を断ち切るポイントとして、①飛沫の発生を抑える(咳エチケッ ト)、②空気中の結核菌を除去する(換気)、③肺への吸入を防御する(特に結核 の発病が疑われる方に接する場合はN95マスクを着用)、以上3点を行うと良 いでしょう。
- また、結核は空気感染するため、早期発見することも大切な感染対策の1つで す。日頃から健康観察を行い、年1回は住民健診(職場健診)等を受けましょう。

【お知らせ】

結核•呼吸器感染症予防週間 9/24~9/30

- 毎年9月24日~30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です。
- ・日本は結核低まん延国の水準を満たしていますが、今でも年間1万人以上の新規患者(約7割が60歳以上)が発生し、 1,500人以上が命を落としています。長引く咳症状は医療機関に御相談ください。
- また、冬季は呼吸器感染症が増加します。咳エチケットや手洗い、換気 等の基本的な感染対策が有効です。流行前に正しい方法を確認しま しょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班 ☎0228-22-2117 **ᆸ**0228-22-7594